

- 東大阪市学校教育基本目標
すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
 - 総合的視点に立つ教育の推進
 - 人間尊重に徹した人権教育の実践
 - 信頼に応える学校園経営
 - 学校園・家庭・地域の協働

車いすダンスの公演を実施しました。

6月11日(木)、太平寺小学校において、文化庁の「文化芸術による子供の育成事業(芸術家の派遣事業)」の一環として、ジェネシスオブエンターテイメントの坪田さんや安藤さんなど5人の方をお招きし、車いすダンスの公演を実施しました。公演では、元日本チャンピオンの安藤広二さんによる華麗な車いすダンス演技の他、講話や子どもの車いすダンス体験もしていただきました。



講話の中で、障害のある人とない人がペアとなり様々なジャンルのダンスを踊る「車いすダンス」が、自分と違う立場で生きる人の生き方や思いを感じるきっかけとなり、お互いに尊重し、自然な触れ合いの中から理解を深め、人間関係や生き方を考えることの大切さを伝えて頂き、全員の児童が真剣に聞いていました。



また、DVDでジェネシスの活動の紹介や車いすダンスの世界での活躍の様子も見せていただきました。その後の車いすダンスの体験では、車いすで一生懸命回ったり、手をつないで心を合わせて踊ったりする姿が見られ、友だちに応援されながら、真剣に取り組んでいました。

この貴重な体験により、将来、いろいろな人たちと触れ合い、強く生きていく気持ちが心に深く刻まれたことだと思います。

安藤さんは、みんなの力もあっていろんなことに向き合っていたからすごいと思いました。

子どもたちの感想より



今の自分は、あんまり相手の気持ちを考えられていないから、これからは今相手がどんなことをおもっているのかを考えられるように、ふだんからみんなのことをもっと見ようと思いました。

安藤さんは、本当にすごいと思います。安藤さんのパートナーのいけちゃんや、しまちゃんもすごいと思った。二人で一つと思った。一生けんめい練習していたと思う。また、あきらめずに大会をがんばってください。

自分が思ったことは、命の大切さ、生きている事がすごいということ、最後まであきらめないということです。ダンスは、キレがあつておどっている人はすごく楽しそうでした。見ていると楽しくなりました。

生まれて初めて、あんなきれいなものを見ました。またテレビでも見たいです。

非行防止・犯罪被害防止教室

非行防止・犯罪被害防止教室では、児童、生徒を対象に飲酒・喫煙、万引き等の犯罪に関わる話やいじめ、ケータイ・スマホの使い方、薬物乱用（危険ドラッグ等）の危険性について、布施・河内・枚岡警察署、八尾少年サポートセンターから指導をして頂いています。

平成26年度、大阪府の少年非行の状況については、刑法犯の検挙、補導人員は5,939人で前年に比べ463人の減少となっています。その内、中学生の割合は49.0%（2,910人）を占めています。また触法少年（刑罰法令に触れる行為をした14歳未満の少年）は1,553人で前年に比べ25人の減少となっていますが、依然として少年非行の低年齢化傾向について危惧されています。

本市では、昨年度と同様に、子どもたちが自分自身の行動を振り返り、規範意識を高める貴重な機会と捉え、今年度もすべての小中学校で非行防止・犯罪被害防止教室を実施致します。



学びのトライアル事業～連携教育～

中学校区HPを作成しました！

今年度より“連携教育担当者”を全小中学校に位置づけ、小中連携をさらに進めてまいります。4月27日には「第1回 連携教育担当者連絡協議会」を開催し、森島研次学園長より千里みらい夢学園の先進的な取組みを学ぶとともに、連携教育担当者としての役割を確認しました。今後も各

(例) ○○○○中学校区のページ



※ 各校園のホームページからアクセスできます。

中学校区の特色を活かしたさまざまな連携を行い、その取組みを中学校区のホームページ等で発信してまいります。

＜小中連携の取組み① ～縄手南中学校区～＞

6月26日に行われた「縄手南中学校区 合同授業研究会」では、中学校区共通の授業目標をもとに中学校からの提案授業と、小中学校教職員による合同の協議が行われました。共通の目標を立てることで、小中が共通して指導を徹底する事柄や発達段階に応じた指導のあり方について、熱心に協議が進められました。縄手南中学校区では、「人格形成と学力向上の有機的結合」を大切にしながら、中学校区が一体となった取組みを進めています。

